



## 平成28年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三ツ知

コード番号 3439 URL <http://www.mitsuchi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村瀬 修

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長

(氏名) 樋口 哲也

TEL 052-798-1126

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日

平成28年3月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年6月期第2四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第2四半期	6,973	0.2	371	△14.1	405	△19.3	293	16.6
27年6月期第2四半期	6,958	3.3	433	68.5	502	80.3	251	21.4

(注) 包括利益 28年6月期第2四半期 84百万円 (△80.6%) 27年6月期第2四半期 435百万円 (108.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第2四半期	115.82	—
27年6月期第2四半期	99.44	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第2四半期	14,548	7,661	52.7
27年6月期	14,194	7,691	54.2

(参考) 自己資本 28年6月期第2四半期 7,661百万円 27年6月期 7,691百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	15.00	—	45.00	60.00
28年6月期	—	30.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,684	△0.1	756	2.0	826	△3.5	605	17.3	239.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年6月期2Q	2,652,020 株	27年6月期	2,652,020 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年6月期2Q	120,219 株	27年6月期	120,131 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期2Q	2,531,853 株	27年6月期2Q	2,529,489 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等が様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12
4. 補足情報	13
(1) 販売実績の状況	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や個人消費の回復を背景に、企業収益や個人所得に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調にありました。しかしながら、アセアン諸国等新興国の経済成長の先行きに懸念が広がり、原油価格の下落や中国経済の減速等による株価の乱高下が続く等、依然として先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要得意先であります自動車部品業界におきましては、北米では堅調に推移いたしました。日本国内においては、軽自動車税の増税により、軽自動車を中心に販売台数は減少し、タイ・中国などの新興国につきましても景気減速の影響等により、製造・販売ともに減少傾向となりました。

このような経営環境の中、当社グループでは対処すべき課題であります①コーポレートガバナンスの強化、②品質向上に資する品質管理体制強化、③海外子会社の管理体制強化、④海外人材の育成・強化、に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高につきましては、日本国内では減収となるものの、米国及び中国での売上増加等により、売上高は69億73百万円（前年同期比0.2%増）となりました。一方利益面につきましては、グループ全社を挙げての原価低減活動を行ったものの、製造原価の増加等により、営業利益は3億71百万円（前年同期比14.1%減）となりました。また、経常利益は4億5百万円（前年同期比19.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億93百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①日本

軽自動車税の増税の影響等により、国内生産は減少傾向にあり、売上高は54億31百万円（前年同期比4.7%減）となりました。一方利益面につきましては、減収による売上総利益の減少及び諸経費の増加等により、営業利益は1億6百万円（前年同期比50.2%減）となりました。

#### ②米国

好調な北米景気状況を背景に、新規製品の受注増加等により、売上高は6億13百万円（前年同期比40.9%増）となりました。一方利益面につきましても、受注増加による売上総利益の増加及び経費削減効果等により、営業利益は52百万円（前年同期比55.5%増）となりました。

#### ③タイ

景気減速の影響によるタイ国内生産の減少の影響もあり、売上高は11億73百万円（前年同期比1.0%減）となりました。一方利益面につきましても減収要因等により、営業利益は1億5百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

#### ④中国

日系自動車メーカーの販売台数増加に伴う新規受注の増加等により、売上高は2億69百万円（前年同期比70.8%増）となりました。一方利益面につきましても、増収要因等により、営業利益は32百万円（前年同期は0百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億53百万円増加し、145億48百万円となりました。

資産の部では、流動資産が現金及び預金の増加により、前連結会計年度末に比べ2億95百万円増加し、90億97百万円となりました。また、固定資産については、のれんの減少等ありましたが、リース資産の増加等により前連結会計年度末に比べ57百万円増加し、54億50百万円となりました。

負債の部では、流動負債が1年以内償還予定の社債の増加、1年以内返済予定の長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ27百万円増加し、40億10百万円となりました。また、固定負債については、社債の増加等により前連結会計年度末に比べ3億55百万円増加し、28億75百万円となりました。

純資産の部では、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の減少がありましたが、利益剰余金の増加により、76億61百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.2%から52.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ8億68百万円増加し、38億10百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益4億5百万円、減価償却費2億13百万円、売上債権の減少額1億20百万円、たな卸資産の減少額2億32百万円等による資金増があり、一方で未払金の減少額1億14百万円、仕入債務の減少額90百万円、法人税等の支払額68百万円等による資金減により、7億62百万円の収入（前年同期比197.4%増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入96百万円、有形固定資産の売却による収入57百万円等の資金増があり、一方で有形固定資産の取得による支出2億97百万円等による資金減により、2億14百万円の支出（前年同期は77百万円の収入）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入4億円、社債の発行による収入4億92百万円等の資金増があり、一方で長期借入金の返済による支出3億63百万円、配当金の支払額1億13百万円、社債の償還による支出21百万円等による資金減により、4億23百万円の収入（前年同期比0.8%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成27年7月31日付「平成27年6月期決算短信」において発表いたしました通期業績予想から修正いたしました。詳細につきましては、平成28年1月29日付「平成28年6月期の通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

##### (有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却の方法につきましては、主として定率法を採用してまいりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、当期において、事業計画のもと、顧客及び顧客ニーズの多様化や加工の内製化等の国内生産体制の見直しのため、国内において設備投資が増加することを契機に、有形固定資産の減価償却方法を検討したものであります。その結果、今後の有形固定資産の使用は長期的かつ安定的な利用が見込まれ、国内においても定額法が有形固定資産の使用実態により即しており、経営管理の精度を高め、当社グループの実態をより適切に反映すると判断したものであります。

この結果、従来の方法に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ40,947千円増加しております。

なお、セグメントに与える影響につきましては、セグメント情報等に記載しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,135,009	3,936,391
受取手形及び売掛金	3,012,157	2,853,332
たな卸資産	2,322,651	2,025,898
その他	336,595	285,946
貸倒引当金	△4,821	△4,109
流動資産合計	8,801,591	9,097,459
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	728,660	795,095
機械装置及び運搬具(純額)	1,221,254	1,324,548
土地	2,150,081	2,133,034
リース資産(純額)	56,170	140,580
建設仮勘定	214,631	72,648
その他(純額)	146,158	163,282
有形固定資産合計	4,516,957	4,629,189
無形固定資産		
のれん	305,052	261,473
その他	68,342	64,846
無形固定資産合計	373,394	326,319
投資その他の資産		
投資有価証券	211,856	207,114
その他	304,916	302,218
貸倒引当金	△13,871	△13,871
投資その他の資産合計	502,901	495,460
固定資産合計	5,393,254	5,450,969
資産合計	14,194,845	14,548,429

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,162,113	2,093,261
短期借入金	351,500	398,538
1年内償還予定の社債	42,000	112,000
1年内返済予定の長期借入金	687,991	764,956
リース債務	108,150	112,930
未払法人税等	41,456	124,004
賞与引当金	17,873	18,305
役員賞与引当金	10,540	5,106
その他	561,518	381,387
流動負債合計	3,983,144	4,010,489
固定負債		
社債	132,000	541,000
長期借入金	1,885,934	1,845,340
リース債務	296,537	299,964
役員退職慰労引当金	50,309	49,999
退職給付に係る負債	22,495	22,652
その他	132,809	116,996
固定負債合計	2,520,086	2,875,953
負債合計	6,503,230	6,886,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,900	405,900
資本剰余金	604,430	604,430
利益剰余金	6,257,611	6,436,909
自己株式	△133,298	△133,461
株主資本合計	7,134,643	7,313,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,962	32,883
為替換算調整勘定	518,008	315,324
その他の包括利益累計額合計	556,970	348,207
純資産合計	7,691,614	7,661,986
負債純資産合計	14,194,845	14,548,429



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
売上高	6,958,245	6,973,484
売上原価	5,624,979	5,704,845
売上総利益	1,333,266	1,268,638
販売費及び一般管理費	900,216	896,827
営業利益	433,049	371,811
営業外収益		
受取利息	907	2,054
受取配当金	1,516	1,870
為替差益	30,771	—
固定資産売却益	15,159	46,590
その他	57,331	38,449
営業外収益合計	105,686	88,965
営業外費用		
支払利息	32,388	28,667
社債発行費	—	7,289
為替差損	—	10,587
その他	4,066	8,730
営業外費用合計	36,454	55,274
経常利益	502,281	405,502
特別利益		
保険解約返戻金	53,248	—
会員権売却益	0	—
特別利益合計	53,249	—
特別損失		
投資有価証券売却損	11,280	—
会員権売却損	900	—
役員退職慰労金	222,528	—
特別損失合計	234,708	—
税金等調整前四半期純利益	320,823	405,502
法人税、住民税及び事業税	62,474	137,703
法人税等調整額	6,808	△25,434
法人税等合計	69,283	112,269
四半期純利益	251,539	293,232
親会社株主に帰属する四半期純利益	251,539	293,232

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	251,539	293,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,813	△6,078
為替換算調整勘定	158,125	△202,683
その他の包括利益合計	183,939	△208,762
四半期包括利益	435,478	84,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	435,478	84,469
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	320,823	405,502
減価償却費	235,029	213,469
のれん償却額	43,578	43,578
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△196	△221
賞与引当金の増減額(△は減少)	633	431
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,404	△5,434
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,499	1,546
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△68,556	△309
固定資産売却損益(△は益)	△14,729	△43,147
投資有価証券売却損益(△は益)	11,280	—
受取利息及び受取配当金	△2,423	△3,925
保険解約損益(△は益)	△53,248	△2,025
支払利息	32,388	28,667
役員退職慰労金	222,528	—
売上債権の増減額(△は増加)	105,815	120,980
たな卸資産の増減額(△は増加)	△41,971	232,394
未収入金の増減額(△は増加)	16,681	37,740
仕入債務の増減額(△は減少)	△171,696	△90,192
未払金の増減額(△は減少)	△18,207	△114,791
未払費用の増減額(△は減少)	8,335	17,362
その他	△30,952	△15,998
小計	588,204	825,626
利息及び配当金の受取額	2,423	3,925
利息の支払額	△32,120	△27,331
役員退職慰労金の支払額	△222,528	—
法人税等の支払額	△79,542	△68,198
法人税等の還付額	127	28,937
営業活動によるキャッシュ・フロー	256,564	762,960

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△52,690	△36,000
定期預金の払戻による収入	48,000	96,550
有形固定資産の取得による支出	△152,555	△297,512
有形固定資産の売却による収入	15,850	57,531
投資有価証券の取得による支出	△2,946	△3,090
投資有価証券の売却による収入	11,111	—
保険積立金の払戻による収入	236,215	5,046
その他	△24,991	△36,796
投資活動によるキャッシュ・フロー	77,993	△214,271
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	150,000	86,450
長期借入れによる収入	900,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△377,475	△363,603
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△55,229	△56,757
社債の発行による収入	—	492,710
社債の償還による支出	△121,000	△21,000
自己株式の取得による支出	—	△163
配当金の支払額	△75,731	△113,780
財務活動によるキャッシュ・フロー	420,562	423,855
現金及び現金同等物に係る換算差額	57,333	△104,231
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	812,454	868,312
現金及び現金同等物の期首残高	3,082,818	2,942,421
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,895,273	3,810,734

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,237,516	435,645	1,134,191	150,893	6,958,245
セグメント間の内部売上高 又は振替高	459,974	—	51,212	6,862	518,049
計	5,697,490	435,645	1,185,403	157,755	7,476,294
セグメント利益又は損失(△)	213,950	33,686	107,098	△773	353,961

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	353,961
セグメント間取引消去	79,087
四半期連結損益計算書の営業利益	433,049

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
外部顧客への売上高	4,992,313	605,225	1,108,008	267,937	6,973,484
セグメント間の内部売上高 又は振替高	438,968	8,673	65,919	1,550	515,111
計	5,431,281	613,898	1,173,927	269,487	7,488,595
セグメント利益	106,452	52,397	105,184	32,157	296,193

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	296,193
セグメント間取引消去	75,618
四半期連結損益計算書の営業利益	371,811

3 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の償却方法の変更)

(会計方針の変更)に記載のとおり、日本セグメントであります当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法につきましては、主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法に比べ、日本セグメントにおける当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は40,947千円増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 販売実績の状況

当第2四半期連結累計期間における販売実績を用途品目別に表示すると、次のとおりであります。

用途品目		前第2四半期 連結累計期間 (千円)	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前年同期比 (%)	前連結会計年度 (千円)
自動車用部品	シート用部品	2,724,393	2,924,506	107.3	5,492,822
	ウインドウレギュレーター用部品	683,692	659,630	96.5	1,368,770
	ロック用部品	369,609	351,548	95.1	727,297
	エンジン用部品	1,086,595	985,019	90.7	2,084,982
	足回り用部品	1,029,976	792,892	77.0	1,945,608
	その他	594,816	689,832	116.0	1,216,346
	小計	6,489,063	6,403,429	98.7	12,835,828
その他		469,182	570,055	121.5	867,756
合計		6,958,245	6,973,484	100.2	13,703,584

(注) 1 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		(参考) 前連結会計年度	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
シロキ工業株式会社	1,435,280	20.6	1,370,998	19.7	2,835,897	20.7%